

○議長（明和善一郎君） 3番 吉川孝弘君。

○3番（吉川孝弘君） 私のほうから、通告のとおり、舟橋駅南駐車場の無料化についてお話しさせていただきたいと思います。

駅の南側には、平成5年にパーク・アンド・ライド方式で当時、舟橋村が注目された舟橋駅南駐車場が整備され、205台もの車が駐車可能となっております。この駐車場は3人の地権者から借り受け、毎年多くの地代を支払っていたところですが、ことし地権者との土地賃貸借契約の一部の期限が切れるのに伴い、今般、土地を買い上げ舟橋村が所有することになりました。

そこで、舟橋駅南駐車場の利用状況を見てみますと、この写真は日曜日の10時ごろの写真でございます（写真を示す）。休日には極端に利用状況が少ないのがわかります。

このグラフは、ことしの過去2カ月間を棒グラフにあらわしたものです（棒グラフを示す）。グラフ2枚の青の部分が平日で、オレンジの部分が土曜日、赤の部分が日曜日となっております。平日は平均80台前後あるのに対して、休日は10台前後になるのが目に入ります。見た目は多く感じられるかもしれませんが、2時間無料ということで、料金の発生しない部分がちょっと目に入ると思います。

少しでも駐車収入を多くしたいところですが、逆手に取って休日無料化にしてみてもどうでしょうか。無料化にすることにより、例えば休日に若者たちがまちへ出かけたり、イベントなどがあれば気軽に公共機関を利用して出かけたりすることが、出会い、結婚支援の充実のきっかけになります。

また、小学校や保育園でイベントがある場合でも、無料駐車場があれば、おじいちゃん、おばあちゃんたちを気軽に呼んで、三代交流が一層深まるのではないのでしょうか。

また、駐車場横には村の農園があり、休日には時間を忘れて野菜づくりを楽しんだりすることができます。

さらに、村内外の人たちにも、休日無料化をうたい文句に、先月オープンした駅前公園でゆっくりしてもらったり、無量寺、竹内天神堂古墳など舟橋村を散策してもらうために、休日無料化は舟橋村のPR的にはよいキーワードとなると思います。

一方、駅前で停車し送迎する際に、横断歩道にとめてしまい危ない事例もあります。日本一の貸し出し率を誇る舟橋村立図書館を利用する人たちにも、駅南駐車場のPRをすることで少しは解消できると思います。

駅南駐車場を休日無料化にすることによって、時間を忘れてゆったり本を読んだり、

読み聞かせなどのイベントで親子で楽しむことができます。

このような取り組みは、子育て支援・少子化対策の推進につながっていくものと思います。日本一の図書館を維持し、村民に教養とゆとりを持ってもらうには、それなりの価値観が見出されるのではないのでしょうか。

少し環境は違いますが、実例的な例を挙げますと、平成17年、18年に富山市で街なか感謝デーと言って駐車場を無料開放し、結果は商店街の通行量は2倍になって、来街者から駐車時間を気にせずによく買い物や飲食ができたと大変好評だったデータもあります。毎週できなくても、年に何度か実施して、状況観察からでもできませんか。当局の意見をお聞かせください。

○議長（明和善一郎君） 総務課長 松本良樹君。

○総務課長（松本良樹君） 3番吉川議員さんのご質問にお答えいたします。

今ほど吉川議員さんから、舟橋駅南駐車場について、土日に利用が少ないことに対するご指摘、そして休日を無料化することにより、さまざまな可能性が生まれるのではないかとのご提案をいただきました。

この駐車場の有料化は、平成18年9月から、公平性、受益者負担の観点から実施いたしましたものであります。有料化には前年から議会で慎重に協議いただき、タウンミーティングでの住民の皆様のご意見を踏まえた上で、利用方法や料金を十分検討し、平成18年第2回臨時議会で議決をいただいた経緯がございます。

その後、パーク・アンド・ライド駐車場として多くの方に利用され現在に至っておりますが、議員ご指摘のとおり、土日は駐車台数が極めて少ないのは事実であります。

パーク・アンド・ライドの性質上、土日に駐車台数が少ないのはいたし方ないところではありますし、昨今の車社会と駐車場の立地特性から、土日にあえてパーク・アンド・ライドを利用する方は少ないと考えております。

そこで、あいた土日の駐車場を無料化し、有効利用してはどうかとのご提案だと認識をしております。しかしながら、現在の利用状況を見てみますと、図書館や周辺施設において駐車場の時間延長を求めるニーズもなく、ふなはし特産倶楽部利用者は少数かつ限定的でありますし、小学校や保育園イベントは毎日開催されるわけではなく、かつ現状の駐車場で十分対応できているといった状況であります。したがって、土日に駐車場を無料化しても、それほど変化はないと考えられます。

これらのことから、当面、公平性、受益者負担の観点からも無料化にすることは考え

ておりませんが、当該敷地は駅前の優良な位置にあります。

今後の有効活用については、住民ニーズの把握に努め、諸計画を踏まえつつ、駐車場の利用状況を見極めた上、関係機関とも協議しながら今後の利用方法を検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。